

入院患者及び職員の新型コロナウイルス感染症の発生について（第4報）

令和4年2月14日（月）、入院患者1名の新型コロナウイルスの感染が判明いたしました。

当該入院患者は、1階病棟に入院中であり、発熱症状があることから、同日、PCR検査を実施したところ陽性と判明いたしました。

同日から、順次、患者さんや職員等の接触者に対してPCR検査を実施しておりますが、現在までに同室であった入院患者1名及び当該病棟勤務職員6名がPCR検査の結果、陽性と判明いたしました。（現時点で累計8名の陽性判明）。

患者さんについては、2月15日（火）以降、現在まで、検査の結果、新たな陽性者は確認されておられません。

現在、1階病棟の新規入院、退院、転棟を、当面、2月23日（水）まで中止、1階病棟のリハビリテーションを、当面、2月21日（月）まで中止することとしております。

なお、1階病棟を除く他の病棟へ入院、退院等及び外来診療（救急診療を含む）は、引き続き、感染防止対策を十分に行い、保健所の指導を仰ぎながら、継続して業務を実施してまいります。

また、現在、保健所と連携し、当該病棟勤務職員のPCR検査等を実施し、安全性を確認するとともに、感染防止対策に万全を期して取り組んで参ります。

当院に入院されている患者さん及びご家族におかれましては、安心して今まで通りの治療に専念していただきますようお願いいたします。

皆様方には、ご心配をおかけするとともに、ご迷惑をおかけしますが、何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和4年2月18日

院長 谷本 安